

旧本間酒造店舗兼主屋

資料 1

所在地	前橋市総社町総社字屋敷南乙1500番地
所有者	前橋市
構造・形式及び大きさ	木造2階建 瓦葺 建築面積 232 m ²
建築年代	大正 12 年
該当する登録基準	(1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
概要	

木造2階建、入母屋造瓦葺、東に店舗、西に水回りを下屋で配し、北側に平屋を張り出す。張出部は痕跡等から後補である。小屋組は和小屋であり2階の軒を船柵造とする。外壁は白漆喰塗り、内部は壁を白漆喰塗り、天井を大引天井（直天）または竿縁天井とする。規模は桁行19.72m、梁間14.08m、軒高6.53m、床面積は1階232.40m²（建築面積）、2階145.57m²、計377.97m²である。

1階平面をみると、土間部は「シタミセ」を店舗・接客部分とし、南側を通り庭とした町家形式となっている。当時「シタミセ」では立飲（イノミ）もされ、酒造廃業後も近年まで小売りを行っていた。北側は住宅用玄関となっている。床上部は「ザシキ」「ゲンカンノマ」「ナカザシキ」「ブツマ」「ショクジバ」の6居室を配す。「ザシキ」「ゲンカンノマ」「ナカザシキ」は四方を檜の指鴨居（せい1.25尺及び1.38尺）で構成している。北側張出部には「ショイン」と「ナンド」を設ける。この張出部は、居住部屋根との取合い、張出屋根に見られる照り、鬼瓦の文様の差異、1階にみられる柱寸法および柱間寸法の違いから後補であると考えられる。増築年代を示す資料を残していないが、経年変化等の状態をみると主屋建造後の間もない時期であると推定する。

2階は居室を7室設け東と南に鉤手の廊下が付く。廊下の開口部は雨戸が嵌められ内側に手摺を設ける。改造痕から西側の6畳と4畳は一室であった。北西隅の洋室は近年に窓・仕上げを改装した。また小屋組をみると、随所に古材が利用されている。

当建物は、建造年を直接示す棟札等資料を残していないが、公簿等資料から大正12年(1923)である。また関係者等への聞き取りにおいても大正12年建造であって、これらのこと及び建築的特徴から、当建物は、大正12年の建造と考えられるものである。

【写真】



主屋外観全景 東道路から見る



主屋を南側から見る



せがい造りの様子



主屋内部シタミセの様子